



ようやく春めけてまじりました。皆様お変わりございませんか。
 今日は今の想いを自由に言わせて頂きました。
 日々、人生に仕事において、問題、心配、憂い、事、恐れなど、
 とりとめもなく向き合う事になります。出来れば、
 「出てこないでくれ」と思う時、正直有ります。しかし、それは阿呆が
 御さないものです。それゆいゆは、人生や仕事においての脅威を
 言うべきものを、懸命に、そしてひたすら乗り切り、二つ、事なまを
 得続けていくところに、まよがや人生における深い味わいを、
 余裕を持って感じる事が出来て、いったらウソになります。
 懐えながら、ブレながら、時にしりこみながらの時も有りますが、
 「問題また良し」と半分は受け止め、思い直して正々堂々と
 こいらと取り組む合、知恵をレほり、如力を重ね続ける
 事ですが、新しい道や成長は、期待出来なしかもしれません。
 こんな事を考えると、世の中や人の人生とは、本当に不思議
 に思えてきます。この不思議が、人が世の中で経験させて
 もらう味わいそのもので、限りなく深い味わいかもしれません。
 十代での味わい、二十代での味わい、三十代での味わいを経て、
 今は、四十代での味わいを経験させてもらっているのです。う。
 通り過ぎてしまえば、どんな味だったか、とも思っ出せない。
 その一瞬、今ここを大切にして、いまだにと思えます。
 ありやうございませう。

ついてる、うれしい、楽しい、感謝しています。
 しあわせ、ありがとう、許します。

平成二十三年三月吉日 多田良雄